



学校だより

2月号

横浜市立大道小学校
令和4年1月31日



← 学校 WEB ページはこちらから

校長 加藤 和之

「声をかける」

毎朝校舎の前に立って、子どもたちを出迎えていると、体の芯から冷え切ってしまいます。しかし、子どもたちの明るく元気な挨拶のお陰で、心はポカポカと暖くなるような気がします。

さて、テレビで「大相撲中継」を観ていると、観客が、力士の名前が大きく書かれたタオルを掲げながら観戦している場面が、よく映し出されるようになったことに気がきます。人気力士の取組になると、その数が増えるようです。調べてみると、「力士応援タオル」というタオルが売られているようです。私は、「なるほど。」と思いました。大相撲や歌舞伎などでは、大きな「かけ声」で応援することが習わしになっていますが、それが今はできません。だからこそ、こういった「グッズ」が販売されているのでしょうか。応援される力士にとってはどうでしょうか。自分の名前が書かれたタオルが、観客席のあちこちに掲げられているのを見ると、勇気が出てくるのだらうと思います。しかし、「照ノ富士～!!」といった「かけ声」が方々からかかり、場内の雰囲気「ワーッ」と盛り上がってくる方が、俄然力がみなぎってくるのではないのでしょうか。「声」は、大きな力をもっています。

「感染症対策」のために、「声を出すこと」が様々な側面から制限されています。マスクをすることだけでなく、声の大きさや距離などにも気を付けなくてはなりません。そんな中でも、子どもたちに「声をかける」ことはできます。「元気?」「頑張っているね。」「どうしたの?」「こうするといいよ。」、こんな状況だからこそ、いつも以上に「声をかける」ことを大切にしなければなりません。そして、子どもたち同士でも、自然に「声をかけ合う」関係が築けるようにしたいと思います。「タブレット」や「携帯電話」を使えば、簡単にやりとりができる便利な時代です。しかし、私たちは常に子どもたちの様子を気にかけ、こまめに声をかけていきたいと思います。子どもが安心したり、前向きな気持ちになったりするように、そして子どもとの「心の距離」が縮まるように。

新型コロナウイルス感染症の予防について、ご家庭へのお願い

最近の感染拡大を踏まえ、学校ではご家庭とともに、お子様の健康と安全を守っていきたいと考えております。次の予防対策につきまして、改めてご理解とご協力をお願いいたします。

1 健康観察の徹底について

日頃の健康観察を注意深く行い、のどの違和感程度のわずかな体調の変化であっても登校を控え、医療機関を受診していただきますよう、よろしくをお願いいたします。

少しでも本人や同居の方に風邪症状が見られる場合には登校を控え、医療機関を受診してください。有症状時は以前配付した抗原検査キットの活用をご検討ください。(ただし、ウイルス量が少ない段階では、陰性になる場合もあることを念頭において対応をお願いします。)

2 学校での感染症対策について

学校では感染症対策として、丁寧な健康観察や換気を実施し、感染リスクの高い活動は実施を見合わせます。また、感染症対策の一環として、体調不良の児童を校内で経過観察することは避け、ご家庭での休養や受診をお願いしています。ご理解、ご協力をお願いいたします。